

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	大阪証券取引所市場第二部 (証券コード4462)
公告方法	電子公告により行う。 なお、電子公告は、当社のホームページに掲載し ており、そのアドレスは次のとおりです。 http://www.unicon.co.jp/

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

インターネットホームページアドレス
<http://www.unicon.co.jp/>



第72期

中間報告書

平成21年4月1日～平成21年9月30日

石原薬品株式会社

株主の皆さまへ



株主の皆さまには、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社は平成21年9月30日をもって、第72期の上半期を終了いたしましたので、ここにその事業の概況をご報告申し上げます。

今後とも株主の皆さまのご期待にお応えできますよう、業績の向上に全力を傾注する所存でございますので、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

平成21年12月

代表取締役社長 **竹森莞爾**

事業の概況

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、内外における在庫調整の一巡や経済対策効果、中国などアジア向けを中心とした輸出の回復の動きを背景に持ち直しの動きが広がりました。しかし、企業の設備・雇用の過剰感は根強く、民需の持続的回復には至っておりません。このような状況下において、売上高は6,195百万円（前年同期比21.8%減）、営業利益は211百万円（前年同期比60.3%減）、経常利益は225百万円（前年同期比61.4%減）、四半期純利益は144百万円（前年同期比46.4%減）となりました。

電子関連分野の状況は、対応する電子部品業界において、在庫調整の進展と内外の家電購入支援策の効果からデジタル家電やパソコンの販売が改善し、アジア向け電子部品等の輸出も持ち直し、需要が改善しました。このような状況下において、めっき液の需要は海外が先行する形で緩やかな回復基調をたどりました。対応部品毎の状況は、パンプ対応めっき液が国内、海外とも高い伸び率となったものの、COF対応めっき液は国内需要が伸びず、リードフレーム、コネクタ、その他は依然として低迷しました。化成処理液自動管理装置及び試薬は、装置導入の延期・凍結など設備投資に消極的な企業が多く、ユーザーのライン稼働状況も完全には回復していないことから試薬使用量は伸び悩みました。この結果、金属表面処理剤及び機器等の売上高は、2,555百万円（前年同期比16.3%減）となりました。一方、電子材料のニッケル超微粉は、需要先のセラミックコンデンサの生産の減少と競合参入による納入数量減により低迷し、機能材料加工品は、半導体製造装置向け、液晶製造装置向けとも全般的に需要減により販売は低調に推移した結果、電子材料の売上高は、861百万円（前年同期比45.5%減）となり、電子関連分野の売上高は、3,417百万円（前年同期比26.2%減）となりました。

自動車用品分野の状況は、エアコンフィルターが標準装備となりフィルター交換需要が高まる中、カーディーラーでの交換時にエアコン洗浄も同時施工する提案を促進し売上が増加しましたが、景気低迷の影響を受け回復が遅れている溶接関係薬剤が低迷し、自動車用品分野の売上高は778百万円（前年同期比4.7%減）となりました。

工業薬品分野の状況は、鉄鋼業界の需要は低水準であるが、内外需とも在庫調整の進展を受け回復基調にあり、鉄鋼各社で減産緩和の動きが拡大しました。このような状況下、建築不況によるアルミの需要減、鉄鋼向け一般薬剤の需要減等により、工業薬品分野の売上高は、1,998百万円（前年同期比19.2%減）となりました。

今後の経済見通しは、生産が持ち直しているとはいえ稼働率の水準はなお低く、企業の設備や雇用の過剰感は続いており、先行きの需要動向についても不透明感を払拭できない状況にあります。

このような状況下、通期の業績見通しにつきましては、第3四半期以降の各事業分野について需要動向等を検討した結果、売上高は12,450百万円、営業利益は470百万円、経常利益は520百万円、当期純利益は340百万円となる見込みであります。

貸借対照表

期別 科目	当第2四半期 会計期間末 (平成21年9月30日)		前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)		期別 科目	当第2四半期 会計期間末 (平成21年9月30日)		前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)	
	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)		金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
資産の部					負債の部				
流動資産			流動負債			支払手形及び買掛金	2,571,830	1,671,758	
現金及び預金	3,396,949	3,042,613	1年内返済予定の長期借入金	24,000	30,250	未払法人税等	86,403	—	
受取手形及び売掛金	3,551,945	2,791,111	賞与引当金	142,704	80,966	役員賞与引当金	21,800	—	
有価証券	941,657	415,246	その他	168,755	215,486	流動負債合計	3,015,494	1,998,461	
商品及び製品	617,557	530,019	固定負債			長期借入金	14,000	26,000	
仕掛品	46,256	53,601	退職給付引当金	85,045	90,352	役員退職慰労引当金	197,377	185,954	
原材料及び貯蔵品	294,597	364,340	その他	95,316	66,658	固定負債合計	391,738	368,965	
その他	81,488	309,930	負債合計	3,407,233	2,367,427	純資産の部			
貸倒引当金	△ 356	△ 279	株主資本			資本金	1,447,280	1,447,280	
流動資産合計	8,930,096	7,506,583	資本剰余金	1,721,281	1,721,281	利益剰余金	9,751,787	9,731,697	
固定資産			自己株式	△ 488,227	△ 488,048	株主資本合計	12,432,121	12,412,210	
有形固定資産			株主資本合計	12,432,121	12,412,210	評価・換算差額等			
建物	1,751,279	1,731,927	評価・換算差額等			その他有価証券評価差額金	△ 111,297	△ 265,715	
その他	905,633	960,326	評価・換算差額等合計	△ 111,297	△ 265,715	純資産合計	12,320,823	12,146,495	
有形固定資産合計	2,656,913	2,692,254	負債純資産合計	15,728,057	14,513,922				
無形固定資産	18,352	15,106							
投資その他の資産									
投資有価証券	2,896,064	3,097,635							
その他	1,230,114	1,207,321							
貸倒引当金	△ 3,483	△ 4,978							
投資その他の資産合計	4,122,695	4,299,977							
固定資産合計	6,797,960	7,007,338							
資産合計	15,728,057	14,513,922							

損益計算書

期別 科目	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)		前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
売上高	6,195,448	7,924,019		
売上原価	4,555,186	5,862,015		
売上総利益	1,640,262	2,062,004		
販売費及び一般管理費	1,429,254	1,530,019		
営業利益	211,007	531,984		
営業外収益				
受取利息	2,854	19,838		
有価証券利息	11,578	—		
受取配当金	11,947	13,116		
為替差益	—	13,706		
その他	17,403	19,744		
営業外収益合計	43,784	66,406		
営業外費用				
支払利息	1,525	2,564		
売上割引	625	1,402		
為替差損	16,735	—		
コミットメントフィー	9,160	9,115		
その他	1,089	1,289		
営業外費用合計	29,136	14,371		
経常利益	225,654	584,019		
特別利益				
貸倒引当金戻入額	850	1,200		
特別利益合計	850	1,200		
特別損失				
固定資産除却損	1,368	140		
減損損失	486	173		
投資有価証券評価損	10	159,783		
特別損失合計	1,865	160,098		
税引前四半期純利益	224,639	425,121		
法人税等	79,689	154,790		
四半期純利益	144,949	270,330		

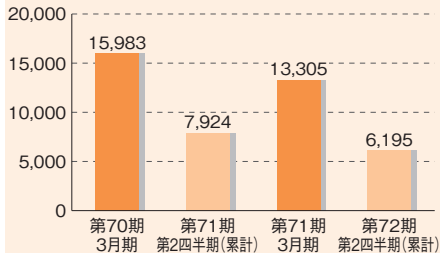
キャッシュ・フロー計算書

期別 科目	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)		前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	705,080	116,261		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 205,721	301,783		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 148,270	△ 164,982		
現金及び現金同等物に係る換算差額	12,856	14,102		
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	363,945	267,164		
現金及び現金同等物の期首残高	3,033,613	2,628,353		
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,397,559	2,895,517		

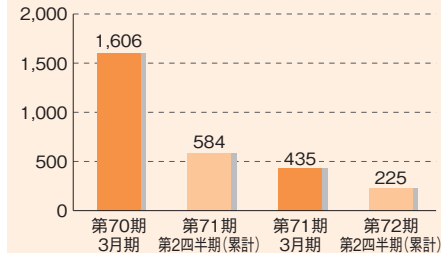
財産及び損益の推移

業績の推移

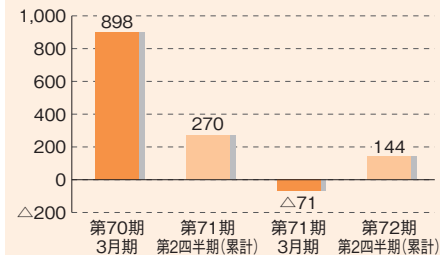
●売上高 (百万円)



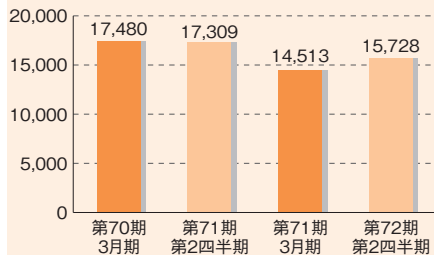
●経常利益 (百万円)



●純利益 (百万円)



●総資産 (百万円)



事業分野別売上高

(百万円未満切捨表示)

区分	事業分野	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間	増減	平成21年3月期
製品	金属表面処理剤及び機器等	2,604	1,935	△ 669	3,922
	電子材料	201	103	△ 98	346
	電子関連分野計	2,806	2,038	△ 767	4,268
	自動車用品分野	547	520	△ 26	998
	工業薬品分野	83	75	△ 7	142
	製品合計	3,437	2,635	△ 801	5,409
商品	金属表面処理剤及び機器等	447	620	173	715
	電子材料	1,379	758	△ 621	2,131
	電子関連分野計	1,826	1,378	△ 447	2,847
	自動車用品分野	270	257	△ 12	531
	工業薬品分野	2,389	1,923	△ 466	4,516
	商品合計	4,486	3,560	△ 926	7,896
総合計		7,924	6,195	△ 1,728	13,305

会社の概況 (平成21年9月30日現在)

■会社概要

商号	石原薬品株式会社 ISHIHARA CHEMICAL CO., LTD.	資本金	14億4千7百28万円
創業	明治33年4月15日	従業員数	189名
設立	昭和14年3月3日		

主要な事業内容

区分	主要品目
金属表面処理剤及び機器等	錫及びハンダめっき液、化成処理液自動管理装置等
電子材料	電子材料、セラミックス、エンジニアリングプラスチック等
自動車用化学製品等	つや出し剤、塗装補修コンパウンド、洗浄剤、消臭・除菌剤、溶接スパッター付着防止剤等
工業薬品	酸、アルカリ、触媒、無機化合物等

■事業所

本社	神戸市兵庫区西柳原町5番26号
東京支店	東京都台東区台東2丁目26番11号
滋賀工場	滋賀県高島市今津町北生見古野24番地の1

■役員

代表取締役社長	竹森莞爾	常勤監査役	福田英章
代表取締役専務取締役	時澤元一	監査役	井上浩三郎
常務取締役	松村伊佐雄	監査役	菱田正
常務取締役	浅野真司	監査役	岡本茂登
取締役	酒井保幸		
取締役	大竹祥司		
取締役	工藤富雄		

■株式の状況

- ① 発行可能株式総数 15,650,000株
 ② 発行済株式総数 7,460,440株
 ③ 株主数 1,774名
 ④ 単元株式数 100株

⑤ 大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数	出資比率
石原薬品取引先持株会	千株	%
日本生命保険相互会社	426	6.1
株式会社三井住友銀行	379	5.4
石原薬品従業員持株会	346	4.9
株式会社みずほコーポレート銀行	237	3.4
株式会社池田銀行	223	3.2
第一生命保険相互会社	219	3.1
大阪中小企業投資育成株式会社	211	3.0
川村邦子	209	3.0
岡田幸能	156	2.2
	145	2.0

注1. 出資比率は、自己株式を除いて計算しております。
 注2. 当社は平成21年9月30日時点において、自己株式523,983株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。